

横浜市感染症発生動向調査報告(令和8年6月)

《 今月のトピックス 》

- 腸管出血性大腸菌感染症が幅広い年齢層で患者が多く報告されています。
- 梅毒は20～30歳代の男女で多く報告されています。
- 手足口病の報告数が増加しており、注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 <2026年5月25日～2026年6月21日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	15件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5件
腸チフス	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
E型肝炎	2件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4件
コクシジオイデス症	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	7件
レジオネラ症	5件	水痘(入院例に限る)	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4件	梅毒	22件
急性脳炎	1件	百日咳	11件

- 腸管出血性大腸菌感染症:**10 歳未満～60 歳代で、O 血清群は O157 が 3 件、O26 が 3 件、O74、O103、O128、O168 がそれぞれ 1 件、不明が 5 件です。無症状病原体保有者は 10 件です。感染経路等は経口感染と推定される報告が 3 件、不明が 12 件です。
- 腸チフス:**10 歳代で、感染経路は経口感染と推定されます。
- E 型肝炎:**40 歳代～70 歳代で、感染経路等は経口感染と推定される報告が 1 件、不明が 1 件です。
- コクシジオイデス症:**50 歳代で、感染経路等は塵埃感染と推定されます。
- レジオネラ症:**50 歳代～100 歳代で、病型は肺炎型が 4 件、ポンティアック熱型が 1 件です。感染経路等は水系感染と推定される報告が 2 件、不明が 3 件です。
- カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症:**40 歳代～80 歳代で、感染経路等は手術部位感染と推定される報告が 1 件、その他と推定される報告が 2 件、不明が 1 件です。
- 急性脳炎:**10 歳未満で、病原体はその他(HHV-6)です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定されます。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:**30 歳代～90 歳代で、血清型は A 群が 2 件、B 群が 1 件、G 群が 2 件です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 1 件、創傷感染と推定される報告が 4 件です。
- 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):**20 歳代～40 歳代で、病型は AIDS が 2 件、無症状病原体保有者が 1 件です。感染経路等は性的接触(同性間 1 件、異性間 1 件)が 2 件、不明が 1 件です。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症:**30 歳代～90 歳代(ワクチン接種歴不明 3 件、無 1 件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、その他と推定される報告が 1 件、不明が 1 件です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症:**10 歳未満～80 歳代(ワクチン接種歴 4 回 1 件、無 1 件、不明 5 件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、不明が 5 件です。
- 水痘(入院例に限る):**50 歳代で検査診断例です。感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告です。
- 梅毒:**10 歳代～80 歳代で、早期顕症梅毒 I 期 6 件、早期顕症梅毒 II 期 7 件、無症状病原体保有者が 9 件です。感染経路等は性的接触による感染と推定される報告が 18 件(異性間 12 件、同性間 3 件、詳細不明 3 件)、不明の報告が 4 件です。
- 百日咳:**10 歳代～60 歳代(ワクチン接種歴 4 回 1 件、不明 10 件)で、感染経路等は家族内感染が 2 件、不明の報告が 9 件です。

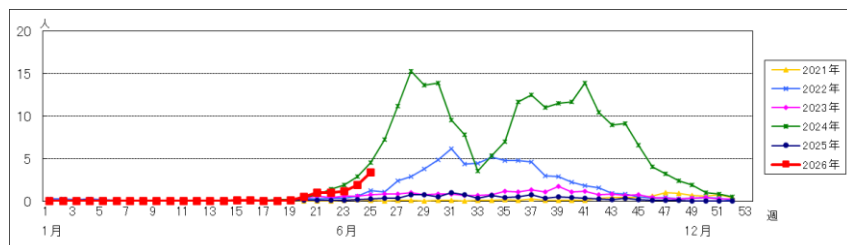
◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、
内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2026 年第 22 週	5 月 25 日～5 月 31 日
第 23 週	6 月 1 日～6 月 7 日
第 24 週	6 月 8 日～6 月 14 日
第 25 週	6 月 15 日～6 月 21 日

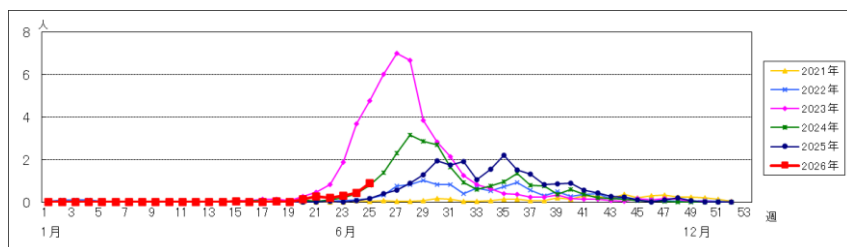
1 手足口病

2024 年第 28 週(7 月 8 日～7 月 14 日)に 15.27 まで上昇しましたが、2025 年は報告数が 1.00 を超えることはありませんでした。2026 年第 25 週は 3.39 と増加しています。



2 ヘルパンギーナ

2026 年第 24 週(6 月 8 日～6 月 14 日)に増加し、第 25 週は 0.90 と更に増加しています。患者報告は 0～6 歳の未就学児が占めています。



3 性感染症(2026 年 5 月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:26件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:11件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性: 9件	女性: 3件	淋菌感染症	男性:11件	女性: 3件

4 基幹定点週報

	第22週	第23週	第24週	第25週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.33	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.25	0.00	0.50
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.50
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.25	0.00	0.25

5 基幹定点月報(2026年5月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	22件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
-------------------	-----	----------------	----

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症)定点:5 か所、ARI 定点:4 か所、眼科定点:1 か所、基幹(病院)定点:4 か所の計 14 か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI 定点と ARI 定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院)定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2026年第22週～第25週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症)定点125件、小児科定点4件、定点外医療機関からは1件でした。

7月1日現在、表に示した各種ウイルスの総数98件(うち分離総数5件)が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2026 年第 22 週～第 25 週)

診断名	検出・分離ウイルス	総数	うち分離数
ARI	ライノウイルス	29	
	ライノウイルス またはエンテロウイルス	17	
	ヒトメタニューモウイルス	12	
	SARS コロナウイルス 2	5	
	パラインフルエンザウイルス 1型	17	
	パラインフルエンザウイルス 3型	10	
	アデノウイルス 型未同定	1	
	アデノウイルス 1型	3	3
	アデノウイルス 2型	3	2
咽頭結膜熱	アデノウイルス 型未同定	1	
	合 計	98	5

【 検査研究課 微生物(ウイルス医動物)担当 】

〈細菌検査〉

2026年第22週～第25週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症16件、腸チフス1件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症5件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7件、侵襲性インフルエンザ菌感染症4件、侵襲性肺炎球菌感染症2件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症2件、Whipple病3件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎2件、感染性胃腸炎1件、「ARI定点」から9件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2026年第22週～第25週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症		16	O157:H7 VT1VT2	(4)
				O157:H7 VT2	(2)
				O157:H- VT1VT2	(1)
				O26:H11 VT1	(2)
				Og26:H11 VT1	(1)
				O26:H- VT1	(1)
				O103:H2 VT1	(1)
				O111:H- VT1VT2	(1)
				Og3:Hg8 VT1	(1)
				O168:H+ VT2	(1)
				O74:H+ VT1	(1)
	腸チフス	1	Salmonella Typhi	(1)	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	Enterobacter cloacae complex	(2)		
		Escherichia coli	(2)		
		Klebsiella aerogenes	(1)		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(2)		
		B群溶血性レンサ球菌	(1)		
		C群溶血性レンサ球菌	(1)		
		G群溶血性レンサ球菌	(3)		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	Haemophilus influenzae 型別不能	(4)		
侵襲性肺炎球菌感染症	2	Streptococcus pneumoniae 24B型	(1)		
		Streptococcus pneumoniae 22F型	(1)		

分離同定		項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所		レジオネラ症	2	喀痰	Legionella pneumophila SG1 (1) レジオネラ属菌 培養陰性 (1)
		Whipple病	3	血液 消化管組織 便	(1) (1) (1)

小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	A群溶血性レンサ球菌 T6型	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 TB3264型	(1)
	直腸ぬぐい液	感染性胃腸炎	1	胃腸炎起因菌 培養 陰性	(1)

ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	9	A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 T1型	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 培養陰性	(7)
				肺炎マイコプラズマ遺伝子 陰性	(9)
				百日咳菌遺伝子 陰性	(9)
				百日咳菌 培養陰性	(9)
					(9)

【 検査研究課 微生物(細菌)担当 】